

公文代 康祐 (Kousuke KUMONDAI)



細胞情報チーム
(産総研特別研究員)

◎ 趣味は読書、国内旅行です。

◎ 糖ペプチドの構造解析手法を確立するため、それらを効率よくソフトにイオン化し、断片化する手法の探索を行っています。また、生体高分子の測定に適した質量分析装置の開発を目指しています。

岩淵 紳一郎 (Shinichiro IWABUCHI)



細胞情報チーム
(産総研特別研究員)

◎ 東京生まれ、横浜育ち、未熟児。どれも信じて貰えないのが玉に瑕。極光と珈琲をこよなく愛す。

◎ 近接場光学と走査プローブ顕微鏡を軸としてナノバイオに取り組んできた自分が、バイオIT融合プロジェクトでは生命情報科学なりシステムバイオなりにどう「融合」していくのか、自分でも楽しみです。

永坂 しのぶ (Shinobu NAGASAKA)



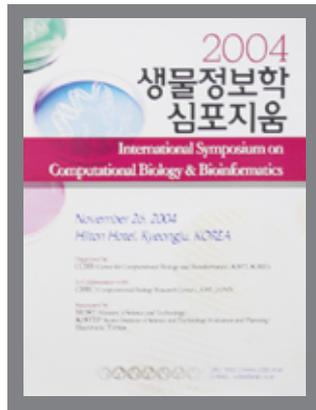
細胞情報チーム
(テクニカルスタッフ)

◎ 4月よりCBRCに勤務しております。趣味は旅行、映画鑑賞です。

◎ バイオ・IT融合による多元タンパク質解析装置の開発に携わり、質量分析計光源としてのレーザー応用、特性評価、MALDIのサンプル調製等を行っております。どうぞよろしくお願い致します。

国際シンポジウム開催のお知らせ

来る11月26日、韓国 慶州にて、国際シンポジウム「International Symposium on Computational Biology & Bioinformatics」(主催：韓国 CCBB *1、共催：日本 CBRC、シンガポール BII *2) が開催されます。



- ◎ 日時：2004年11月26日(金) 9:30~17:00
- ◎ 場所：Gyeongju Hilton Hotel (韓国 慶州)

3 国 3 機関の研究者が最新の研究成果を発表し、バイオインフォマティクスが握る他科学分野への貢献を探ります。日本からは、秋山 泰(研究センター長)、富井健太郎(分子設計チーム研究員)、本野千恵(生体膜情報チーム 産総研特別研究員)、麻生川 稔 氏 (NEC - 以前共同研究で数理モデルチームに在籍) が講演します。詳しくは、本シンポジウムサイト http://www.cccb.re.kr/symposium/2004_1/index.html (英語) をご覧ください。

CBRCと韓国CCBBは、3月に研究協力協定のMOUを交わしており、これが具体的なコラボレーションの第1弾となります。また、シンガポールのA*Starとは、これまで長官や理事にお越しいただき何度か意見交換をするなど、協力に向けた話し合いをしてきました。

9月22日にはBII, A*StarのMishra研究所長以下主要な研究員のみなさんがCBRCを来訪され、相互研究発表会も開催しております。



9月22日、BII Mishra所長以下研究者のみなさんと

- [*1] CCBB (Center for Computational Biology and Bioinformatics), KISTI, Korea <http://www.cccb.re.kr/>
- [*2] BII (Bioinformatics Institute), A*Star, Singapore <http://www.bill-sg.org/>

EzCatDB の公開

本誌 P. 3でもご紹介した 酵素触媒機構データベース (A database of Enzyme Catalytic Mechanisms) : EzCatDB (制作：長野希美 タンパク質機能チーム研究員) が10月1日より公開されています。
<http://mbs.cbrc.jp/EzCatDB/>



人事異動のお知らせ

- 【新規採用】
ラリサ・キセレヴァ [テクニカルスタッフ (配列解析チーム)] 9/3付
- 【退職】
金 大真 [産総研特別研究員 (数理モデルチーム)] 9/30付
→ 東京大学大学院 新領域創成科学研究科

●この季節店頭には並ぶ柿を見ても子規の「柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺」を思い出すことはめったに無くなった。柿は縄文、弥生時代の遺跡からも種が多く出土すると聞くなど、民間薬としても古くから要用されていたようだ。柿の学名はディオスپیロス・カキ。ラテン語で「神から与えられた食べ物」の意だ。●近年、柿渋タンニンには抗菌、抗酸化、血圧降下作用などいろいろなる薬用作用があることが判ってきた。柿渋を飲用すれば、体・脳の細胞が若返り元気になる思考力も増し長寿のもととなるなど良い事づくめ。さあ、柿食べて頭張りましようか……。 (深)